

歴史を積み重ね、新たなステージへ

開校15周年記念運動会 写真と文でふり返る



▲ 入場行進



▲ 今年も活躍、金管バンド



▲ 低学年表現



▲ 中学年表現



▲ 高学年組体操



▲ 熱戦の綱引き



▲ 力のこもった応援



▲ 大接戦のリレー



▲ 優勝旗を受け取る黄組

運動会当日になった。午前の棒取りは、練習で他のチームにこてんぱんに負けていたので、作戦を変えてやった。うまく作戦がはまり、一位の黄組にあと一点までせまることができた。応援合戦では、前日練習でも声が小さかったのが心配だったが、私は声がかかるまで出し続けた。みんなも大きな声を出してくれたので、うれしかった。そしてなんと最優秀賞になることができた。組体操では、三段タワーも上がったし、大成功だった。つなひきは全敗。リレーも三位。得点発表で三位と聞いて、覚悟はしていたけれど、すごくやさしさがこみあげてきた。でも、ふり返ると、チームのみんなが最後までついてきてくれたし、あきらめずにがんばってくれた。三位だったけれど、とても心がすっきりしたし、すごく楽しく、うれしかった運動会になった。みんな、六年生を支えてくれたありがとう。

正直言って、私は運動会は好きではない。組体操は足とかひざがいたくなるし、暑いし、つかれるからだ。でも今年はずいぶん変わった。六年間で最後の運動会。そして、青組は三位。すごく悔しかった。でも、とても楽しかったしうれしかった運動会だった。一学期の終わりから、運動会に向けての取組が始まった。心えん歌などを考えたりした。そして、二期。いよいよ本格的に活動が始まった。はじめは一年生が全然覚えてくれない、五年生の声が小さい、などなやみだらけのスタートだった。それに組体操の練習も始まり、とてもそがしくなった。私は今年心えん隊長になった。心えん練習では、なかなか静かにならないし、話もきいてもらえないことが続き、少しいらだつたこともあった。全校体育ではじめて赤組や黄組の心えんを最後まで聞いた時、自分の組が一番声が小さいと思ひ、がんばろうという気になった。組体操は去年もやっていたので、だいたいの技はできた。今年は『フラワー』という技の持ち上げ役になった。それに三段タワーの土台役にも立候補した。

運動会を終えて

(六年女子)

平成27年度京丹波町小学生陸上運動交歓記録会

京丹波町の5つの小学校5・6年生児童220名が集い、競い合う中で自己記録の更新を目指し、友達を応援したりがんばりを讃え合う陸上交歓記録会が、10月8日(木)に丹波自然運動公園陸上競技場で開催されました。本校からも5・6年生児童が、全員参加の100m走・50mH走、選択種目の800m走・走り高跳び・走り幅跳び・ソフトボール投げに分かれ、そして、代表選手4名が4×100mリレーにそれぞれ挑戦しました。この大会に向けての取組により大半の児童が本番で自己記録を更新しました。そして見事大会新記録を出し表彰された児童もいました。和知の子のがんばりが輝いた1日でした。

入賞者紹介 (1位～3位入賞者及び記録 本校分)

5年男子				
100m走	2位	梅原 一能		15秒5
	2位	西田 響生		15秒5
50mH走	1位	西田 響生		9秒2
	3位	梅原 一能		9秒3
800m走	1位	梅原 一能		2分45秒9
6年男子				
800m走	3位	石田 仁		2分51秒1
走高跳	1位	川邊 大将		116cm
ボール投げ	1位	榎川 颯輔		56m84cm
6年女子				
100m走	1位	堀 奏羽		14秒8
50mH走	2位	堀 奏羽		9秒7
走高跳	1位	堀 奏羽		119cm
	2位	大西 風璃		116cm
ボール投げ	1位	樋口 日南		44m45cm 大会新
6年	4×100mリレー	2位		59秒8
	(隅山快莉 大西風璃 堀奏羽 榎川颯輔)			



▲ 800m走スタート



▲ 800m走ゴール



▲ 4×100mリレーゴール前